

会派代表質問
「 会派名 」 憲政会
「 氏名 」 片岡勝則

問 第 3 次 岩 国 市 総 合 計 画 に お け る 「 基 地 と

の 共 存 」 に つ い て

答 第 3 次 計 画 に お い て も 、 引 き 続 き 継 続 し

て 取 り 組 ん で い く

「 基地と 」 の 共 存 について、基地が所在する
ことでの市民の皆様には様々な負担があることは
確かだが、基地を否定的に捉えるのではなく、
基地があるところを前提に共存を図り、現実的かつ
展のために生かしていきたく、また、岩国
前向きの視点で取り組んでいく。また、岩国
市は基地と共に歩んできた歴史があり、多
くの市民が、基地の存在そのものにとっ
これらを認め、尊重し、同盟を軸とした安全
保障政策を尊重し、基地の安全な運用に協
力してきたと考える。基地の後の市民の平穏な
生活の確保に努める。基地の有効な資源と
活用するアイデア。アイデア。発想をもつて住民福祉
向上につなげる。

会派代表質問
 「会派名」 志政いわくに
 「氏名」 矢野匡亮

問 第3次岩国市総合計画基本構想について

人口減少の抑制のみならず、人口増加につな
 がることを願いながら、地域交通や市民の足
 を確保・維持していく対策に交通機関を利
 用できる環境の整備を進めると共に、利用促

進に努めていく

乗合タクシー導入については、路線バスの利
 用状況を注視し、乗合タクシーの申し込みは、
 ら検討していき、乗合タクシーの申し込みは、
 運行する車両が一定数必要となり、
 っては、交通事業者が保有する車両が少なく
 運行する車両が一定数必要となり、
 後とすることで、複数台の新たな移動手段につ
 の調査・研究に努めるとともに、
 運行が効率的で持続可能な線バスから利用
 実情を踏まえて検討し、バスから利用
 が著しく少ない、
 が必要と判断、断さるるに、
 段に必要と判断、断さるるに、
 証運行の実施もしていく。検討するたため、実

知を図り、対象者が漏れないよう努めていく。

会派代表質問
 〔会派名〕 日本共産党市議団
 〔氏名〕 小川安士

問 JR岩徳線の10時台の列車の増便、復活

10時台の列車増便を、市からJR西日本に働きかけ、どのような要望があるか。また、たが、どのよう経過にあるか。当然、考え方は、われないから便数が減るのは当然、という考え方は、ないから、交通としてみれば、責任放棄であり、結局は、公共交通としての責任放棄であり、結局は、国力線はなくなる。分割民営化のとき、一全国一律から一口なる。分割民営化のとき、徹します。と、伝えた。が、今、運行速度が遅い。経営努力を求め、速く。は、岩徳線を通じ、正式に要望する。R西日本には、要望の趣旨を伝えた。JR西日本では、輸送量により、便数を調整して、お、り、増便は、難しい。と、思う。が、県を通じ、正式に要望する。で、利、便、を、目、指、し、たい。委員会の取組、その他、質問、便、を、目、指、し、たい。委員会の取組、高年齢者の補助器購入、その他、質問、便、を、目、指、し、たい。委員会の取組、農業の安定確保の強化、機構改革、

会派代表質問
「会派名」市政改革クラブ
「氏名」細見正行

問 有事に つよいまちづくりについて

国において、武力攻撃事態等における国民の
保護のため、16
条では、市町村の実施する国民の保護のため、
措置が示され、おろ、避難に関する措置を
施し、なければならぬと明記している。1
ルを制定し、安全・安心を確保する。1
ない、住民の安全・安心を確保する。1
道路網の整備やシエルのタ、の設置につ
道のように考えられているか。設置につ
どのよう
。

答 岩国市地域防災計画において位置づけて

岩国市国民保護計画では、武力攻撃事態を想定
し、道路ネットワークの整備計画において、防
岩国地域、防災計画において、道路を緊急道
る行政機関、医療機関等と結ぶ道路を緊急道
路とし、位置づけられている。
その他の質問事項は、新鮮食品や生活用品を地
・基地内における生鮮食品や生活用品を地
・から調達する。よと、安全・保障産業の育成・企業
基礎研究機関や安全保障産業の育成・企業

誘致をすることについて

問 取組を伺う。トボード場の新設について今後の
答 今後、スクエイトパークの安心・安全な場
所への移転を視野に入れた、候補地・選定に係
る基礎調査の実施を検討していき、また、利
用者の意見を踏まえていく中で、
ケイトボードを含まれたアバンティポットとい
う概念でもいろいろと考えてまいりたい。

一般質問
「会派名」同志会
「氏名」山本辰哉

問 子宮頸がん予防のHPVワクチンの安全性と、
 ワクチンへの対応、
 令和5年4月1日から
 化に伴う本市の対応に
 答 効果と市対、
 伝子型を標的とし、
 率及び死亡率的減少が
 ついては4価と比べ接種
 は多いが、全身症状は
 本市におい、ても個別
 対象者の方へ、適切な
 による周知等、適切な
 その他、質問事項の実
 子育への支援の充実
 ・・そのよる者の周知等、
 ・・子育への支援の充実

一般質問
 公明党議員団
 野本真由美氏

問 いる 将 旧 郡 部 は 人 口 減 少 や 過 疎 化 が 著 しく、 近
 地 域 には、その 地域 山地 積 着 した 総 合 課 題 解 決 の ため
 地 域 には、あ つ た 地 域 策 を 展 開 した 施 策 を 考 へ、展 開
 して いる。その ため にも、 総 合 支 所 の 政 策 形 成 力 を
 強 化 す べ き と 考 え る が、い か が か の 政 策 形 成 力 を
 答 員 地 域 の 特 性 を 生 か し た 政 策 を 形 成 す る の
 職 員 に 必 要 と 考 え る。ま た、更 に 地 域 を コ ー
 能 力 が 必 要 と 考 え る。ま た、更 に 地 域 を コ ー
 デ ィ ング ト 軟 化 につ いて 役 割 も 求 め ら れ て いる。こ
 と か ら、柔 軟 化 の 能 力 開 発 な どの 課 題 材 育 成 に 取
 り 組 ん で、い 職 員 の 能 力 開 発 な どの 課 題 材 育 成 に 取

一 般 質 問
 〱 〱
 〱 〱
 石 原 真
 同 志 会

施進とに・こ「対 答 の体理載さ問
 す抄協推ソれ被策「「の対ですはれ
 る状力進フらの害「「汎を対るなた流
 。況ししトのの「汎を対るなた流
 を、、一対軽被濫をうな河今支水
 把握定後となっ県復旧・さが復興のためす
 るみおいた事等が連携し、ハ「対策「の
 などプても前防災対策を計画的ド策「
 フロシエク全体にっ係者、
 オジエク全体にっ係者、
 ロエク全体にっ係者、
 「ク全体にっ係者、
 アト全体にっ係者、
 ツつ係者、
 プをい者、
 実て者、

「 氏
 「 会
 「 派
 「 名
 「 名
 「 奥
 「 江
 「 徳
 「 成
 「 一
 「 般
 「 質
 「 問
 「 公
 「 明
 「 党
 「 議
 「 員
 「 団

支 場 と 地 こ 供 答 の 行 な を の 続 な 価 問
 援 所 に 域 で に 食 。 の 事 い 召 様 い ど 高 コ
 活 の 対 の 集 限 事 。 周 の も し に て の 騰 ロ
 動 の 提 す つ い ら ず 支 知 か が 子 入 収 で ナ
 の 取 や 支 が を 、 援 、 。 っ か 。 は 近 や
 組 情 援 の の る で 誰 活 案 ま て ら 貧 減 な ウ
 が 報 の 手 場 こ も の 動 内 た い 高 困 る も ク
 促 提 供 も が と 参 取 だ 者 限 か の イ
 進 さ ・ 届 き ま 人 す は に 理 け ま ら り 値 ナ
 れ 周 知 や す 、 人 こ 生 協 の う も こ し い が 攻
 よ 等 を く 日 と 人 と 活 力 場 な が ど い が 攻
 う 努 行 る 。 困 れ 合 い そ 力 場 な が ど い が 攻
 め い る 。 困 れ 合 い そ 力 場 な が ど い が 攻
 る 、 。 食 市 も 日 と 人 と 活 力 場 な が ど い が 攻
 。 食 市 も 日 と 人 と 活 力 場 な が ど い が 攻

一 般 質 問
 氏 名
 氏 名
 姫 野 敦 子
 リ ベ ラ ル 岩 国

一般質問
「会派名」日本共産党市議団
「氏名」長岡辰久

問 山口県でも3割の自治体が高校まで医療費を
無償化している。市に全国に続くことを求め
た。子ども支援策は、子どもを取り合うこ
答 とにたるため慎重に判断する。事業につ
問 タクシ1券を2倍にするよう求めた。現
答 アンケ1トでも多くが満足なので、現
は 考えていない。① タブレット録音問
問 ② 高森みどり中学校への生徒募集中
案)。生徒募集中は、みどり中だけなく岩
国 の子どもたちに関わる問題。県教委に懸
を 伝えることも大切。要望した。問題。県教委に懸念

明 答 る る 推 を 元 あ も 事 び 来 問
 及 よ と 進 担 で り な 前 高 構 県
 び 県 う あ に う 困 、 さ に 森 想 教
 協 教 強 る は 市 惑 の 特 れ 市 み で 委
 議 委 く こ 市 教 の に て 教 ど 、 岩 が
 の に 求 と 町 委 と が 高 、 お 及 中 国 今
 場 対 め か 教 と し 多 森 ず び 学 高 年
 を し る ら 委 し く み 、 P 校 校 10
 設 、 べ 、 、 て 、 上 ど あ T の へ 月
 け 今 き 県 関 、 が り ま A 募 集 県 発
 る 回 と 教 係 ー っ の の に 立 表
 よ の 考 委 機 県 教 て の 募 集 唐 団 示 校 県
 う 素 え に 関 教 育 い 集 唐 団 示 校 県
 要 案 る 協 ・ 育 い 集 唐 団 示 校 県
 望 に が 議 団 基 る 集 唐 団 示 校 県
 し つ い の 体 本 ° 停 突 体 と の 併 校 立
 て い か 場 と 計 義 止 な 発 の れ た 設 高
 い て が か 設 携 画 務 に 発 表 協 た 設 校
 く の か 設 携 画 務 に 発 表 協 た 設 校
 ° 説 ° け す の 育 地 で 議 が 及 将

一 般 質 問
 氏 会 派 名 名
 藤 志
 重 政
 建 い
 治 わ
 く に

一般質問
川口隆之氏
志政いわくに
派名

問

員採用の取組と就職氷河期の世代
付金を活用した事業の進捗を伺う
た、岩国市としてこの世代の世帯
ついでにはこの世代の世帯を対象と
答 本市ではこの世代の世帯を対象と
は行っていませんが民間企業等を
象として試験は行っている。職務経
バイト等の非正規雇用は含めない。交
活用した事業や就職氷河期の世代を
し、取組は行っていません。この世
た、全体の就業を支援する取組を
。 。

支 問 加 問 整 つ め 問 つ 練 化 給 問 計 問
 援 入 者 国 性 て 、 昭 て 外 物 訓 と に 米
 つ 黒 者 国 性 て 、 米 和 質 来 を 練 同 つ 軍
 い い に 民 等 、 米 和 質 来 を 練 同 つ 軍
 て 雨 つ 健 に 政 軍 町 藤 。 の 飛 行 や 大 型 艦 船 寄 港 等 の 増 加 に
 質 被 い 康 つ 府 基 藤 。 の 飛 行 や 大 型 艦 船 寄 港 等 の 増 加 に
 問 爆 て 保 い の 地 生 線 の 都 市 計 画 道 路 の 完 成 の た
 。 者 廃 険 て 対 応 及 び 過 去 の 予 算 執 行 と の 件
 健 止 の 均 。 過 去 の 予 算 執 行 と の 件
 康 す の 均 。 過 去 の 予 算 執 行 と の 件
 手 る こ 等 割 を 1 8 歳 ま で の
 帳 こ 等 割 を 1 8 歳 ま で の
 申 と 割 を 1 8 歳 ま で の
 請 を 1 8 歳 ま で の
 制 質 問 。 歳 ま で の
 度 問 。 歳 ま で の
 の 紹 介 や

〔 氏 名 〕 松 田 一 志
 〔 会 派 名 〕 日 本 共 産 党 市 議 団
 一 般 質 問

をばに箇里力新危年学答現小問
 確学つ所布等た険開路状・童
 認校い解町要件な箇催学通と中
 しをて消3件が歩所し校学対学・
 た含はの号が道の解、安全の校生
 上め、た線整の消危全のの徒
 で関学めとえ整に険対安問通の
 可係校現市ば備つ箇策全う学安
 能機側在道実施あての議保のな
 であら通のしる、解会に危通
 る協そ学木たの最も消「向険学
 と議の路町いで、効取り成は「確
 考を旨の変号また用地果的組24「保
 え行の相更線た、買な方でいる、
 るい相更線た、買な方でいる、
 。、談するど市道の協は、
 安がここ危道麻協は、
 全あこ危道麻協は、
 性れと険麻協は、

一
 般
 質
 問
 一
 氏
 会
 派
 名
 名
 一
 一
 貴
 船
 政
 会
 齊

問 東光寺や桜地蔵、明生台等の高台地は
 道の幅員も狭く、袋小路が非常に多い。場
 道の編入を進め、支援制度の拡充にたいして
 は、整備のため、支援助制度の拡充にたいして
 う。高齢化が進み、生活道路の維持管理が難
 答 高台化が進み、生活道路の維持管理が難
 し。道路等、マイン道路の対応を、他市の状
 け 参考調査研究のし、他の状況
 を 海路団地の高台の公園のトイシ
 問 水洗団地
 が 水洗団地
 な ら ず 課 題 解 決 不 可 避 け ず
 を 早 期 進 め ば 消 滅 可 能 だ
 答 地域の実情を踏まえ、利用しやすい公園
 づ くり 団地 組 む 。 ま え 、 利 用 し や す い 公 園
 問 高台地における移動手段の確保にたい
 て 伺 う 。 団 地 に お け る 移 動 手 段 の 確 保 に たい
 答 高台地を含まない高台者等の移動手段の今
 後 あり方に必要がある。新たな移動手段につい
 て も 検 討 す る 必 要 が あ る 。

一般質問
 氏名 丸茂郁生
 会派名 志政いわくに

会大 答 問 体 答 な 確 と 問 か 答 か 市 2 問
を切 今 装 な ア と し る 総 と コ 。 民 次 第
引な 後 港 施 ン 考 え け 現 計 析 し 禍 の 影 響 も あ る が 、 各 分 野 で し っ
きた 後 も 小 策 を ー が ば 、 各 課 、 今 後 10 年 本 市 の 最 上 位 計 画
続め 、 住 学 校 定 め 査 ど う 考 え る の か 。 策 定 で き
き 、 地 続 の 今 後 個 別 の 取 組 を 進 め て い く
実 域 け ら 後 に つ 地 域 の 問 人 の 理 解 も
施 の 人 ら 後 に つ 地 域 の 問 人 の 理 解 も
し の 人 ら 後 に つ 地 域 の 問 人 の 理 解 も
て 人 ら 後 に つ 地 域 の 問 人 の 理 解 も
い を ら 後 に つ 地 域 の 問 人 の 理 解 も
く 対 ら 後 に つ 地 域 の 問 人 の 理 解 も
。 象 地 域 の 問 人 の 理 解 も
時 と 域 の 問 人 の 理 解 も
期 し の 人 の 理 解 も
は た 人 の 理 解 も
未 住 民 の 理 解 も
定 民 の 理 解 も
。 説 明 も

「 氏 名 」 瀬 村 尚 央
「 会 派 名 」 市 政 改 革 ク ラ ブ
一 般 質 問

こをのれ越に問指ら善対多る添ル問
 と通種る波相すれで処く多加ス
 がっ別たな応災たる免療のく物、新
 瞬てよめにどし害め。疫法も病の要そ学コ
 時に難っ難よとの所報を高要だが人でス（薬
 求す、路通え難場伺有し、防す健康寿命日
 めるかこの保が求めるとなるるこことが避
 られ。今居る場場所にれも考えら。要す
 が、る難場場所にれも考えら。要す
 い場所か
 がで判
 か断
 。す
 る路

一
 般
 質
 問
 氏
 会
 派
 名
 氏
 中
 村
 恒
 友
 市
 民
 の
 声
 を
 き
 く
 会

東 問 在 日 軍 再 編 計 画 に つ い て 、 再 編 計 画 は
 そ の 前 に 民 生 安 定 策 と な る 。 次 の 事 項 に つ
 い て 取 り 組 ま な け れ ば 市 民 の 理 解 は 深 ま ら な
 い 。 1 硫 黄 島 で の 事 前 集 中 訓 練 、 F C L P
 ・ C Q の 完 全 実 施 。 3 令 和 4 区 5 年 度 に 実 施 さ
 難 訓 練 の 実 施 。 3 令 和 4 区 5 年 度 に 実 施 さ
 れ る 騒 音 実 態 調 査 で の 防 音 区 域 の 見 直 し に つ
 い て 4 工 事 に 基 地 音 区 域 の 見 直 し に つ
 生 線 改 良 工 事 に 基 地 音 区 域 の 見 直 し に つ
 問 玖 珂 町 温 水 プ ー ル 、 ゴ ー グ リ ー ン オ ア シ ン 継
 続 的 に 全 て 解 体 接 替 する 温 水 プ ー ル 却 設 け 今
 年 度 に つ い て 隣 接 する 温 水 プ ー ル 却 設 け 今
 才 ア シ ス の 残 り が 継 続 し
 て い く の か 問 題 が 、 今 後 ど の よ う に 継 続 し
 問 題 岩 国 錦 帯 橋 空 港 に 国 際 線 を 就 航 さ せ 、 企

一 般 質 問
 〱 市 民 ク ラ ブ ・ 草 の 根
 〱 重 岡 邦 昭

問 美和町で建設中の上海電力岩国メガソー
 ーに設置される太陽光パネルは全て中国製
 で、この製品は米国では、ウイグル労働
 防止法で輸入差止めと聞いています。反
 対する岩国
 市議会もウイグル人の強制労働に
 見書全会ウイグル人の強制的労働に
 の血と涙と怨念の染みついていたり
 気には誰もなれないと思っただけ
 質問。誰もなれないと思っただけ
 答。国において、引き続きまだ情報収
 集に努めていない
 状況。

一般質問
 石本 崇
 志政いわくに
 氏名

